

第2次南あわじ市男女共同参画計画に関する自己評価について

【第2次南あわじ市男女共同参画計画の基本理念と基本目標】

基本理念 男女がともに希望を持ち、自分らしく活躍できるまち

- 基本目標1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
- 基本目標2 あらゆる場面において男女が活躍する社会づくり
- 基本目標3 仕事と生活の調和が図れる環境づくり
- 基本目標4 安心して暮らせる社会づくり

【自己評価の概要・目的】

- 「第3次南あわじ市男女共同参画計画」を策定するにあたり、令和4年度で終了する「第2次南あわじ市男女共同参画計画」における取り組みについて自己評価を行いました。
- 「第2次南あわじ市男女共同参画計画」では、基本理念のもと4つの基本目標を掲げ61施策目標を設定し、65件の取り組みを実施しています。それらの達成状況を毎年確認・検証するとともに、今年度は、これまでの総括評価も併せて実施することとしました。
- 自己評価を行うことで今後の課題や方向性を確認し、「第3次南あわじ市男女共同参画計画」策定に係る1つの指針として活用する予定です。

【自己評価の方法】

- <毎年の評価>
- 基本目標を達成するための取り組みについて、客観的な重要業績評価指標を設定し、実績や状況等を毎年AからDの区分により評価しています。なお、AからDの評価区分の内容は以下のとおりです。

区分	評価
A	達成できた
B	おおむね達成できた
C	あまり達成できなかった
D	ほとんど達成できなかった

<4年間の総括評価>

- 平成30年度から令和3年度までに実施した取り組みに対し、毎年行っている評価区分(達成状況)を「A=4点、B=3点、C=2点、D=1点」として数値化し、その結果を担当課が更に評価・検証しました。

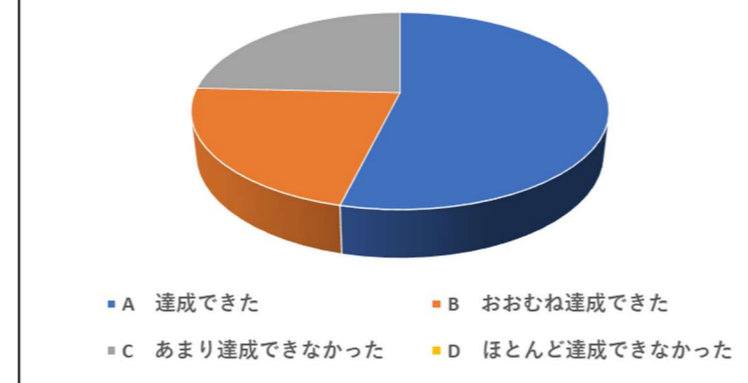
【自己評価の結果】

<全体の進捗度>

- 施策目標を達成するため実施した取り組み毎に評価した計画全体の進捗度は、「A 達成できた」が最も多く、全体の53.8%を占めています。次に「C あまり達成できなかった」が24.2%となっており、続いて「B おおむね達成できた」が21.9%となっています。なお、「ほとんど達成できなかった」と評価した施策はありませんでした。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を実施できなかった場合においては評価を『C』としました。

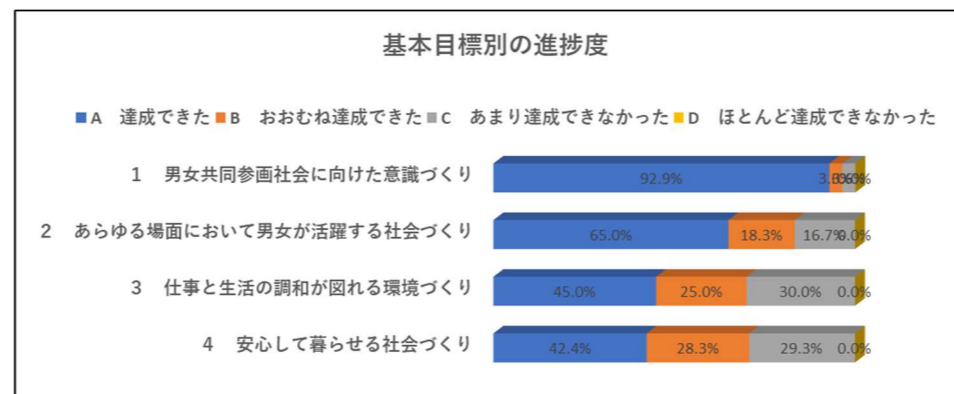
評価区分	H30	R1	R2	R3	H30～R3
A 達成できた	33	36	35	36	53.8%
B おおむね達成できた	17	15	12	13	21.9%
C あまり達成できなかった	15	14	18	16	24.2%
D ほとんど達成できなかった	0	0	0	0	0.0%
	65	65	65	65	

平成30年度～令和3年度における取組状況



<基本目標別の進捗度>

- 全ての基本目標で、「達成できた」と「おおむね達成できた」を合わせた“順調”の割合は70%を超えており、最も高いのは『1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり』で、96.5%でした。
- 一方、「あまり達成できなかった」の割合が最も高いのは、『3 仕事と生活の調和が図れる環境づくり』で、30.0%でした。



【4年間の総括評価から見る今後の課題と方向性】

<4年間の総括評価>

- 4年間の達成状況を数値化したうえで、その合計が16点満点中11点を下回る場合は、担当課において達成できなかった要因の分析を行いました。
⇒65件の取り組みのうち、11点以下の項目…18項目(約27.7%)

<特に評価が低かった項目(抜粋)>

- 主に令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大のために会議の開催が中止となった、あるいは啓発活動が自粛されたことにより、内部評価が低い結果となった事業

事業	男女が共同して家庭生活を行う意識づくり
指標	講座の開催数

事業	DVに関する情報の周知・啓発
指標	街頭啓発の実施回数

など約10項目

- 目的が類似した研修等と同時開催を行う等、業務の見直しを行った結果、指標目標を達成できず、内部評価が低い結果となった事業

事業	職員に対する啓発・研修を通じたハラスメントの防止
指標	啓発又は研修の実施回数

事業	DV相談窓口連携体制の構築
指標	庁内相談連携チーム会議の開催

<今後の課題と方向性>

- 相対的に“順調”である取り組みが大勢を占めていますが、上記事業のように、コロナ禍等が原因で評価しづらい指標の定め方は見直すべきと課題として、第3次南あわじ市男女共同参画計画策定時には適切な指標設定を行うべく、新たな視点から取り組む必要があります。

- 第2次南あわじ市男女共同参画計画では多く触れていなかった、男女共同参画に関する課題(固定的性別役割分担への気づき、ジェンダー平等、男性の育児参加等)に向き合うなど、社会的潮流を踏まえた『誰もが暮らしやすい南あわじ市』の実現に積極的に取り組む、市民の皆様に寄り添った計画策定が求められています。